

第35番 清瀧寺

●高知県土佐市高岡町丁568-1
☎088-852-0316
●宿坊／なし

第36番 青龍寺

●高知県土佐市宇佐町電163
☎088-856-3010
●宿坊／なし



沿線の見どころ



土佐龍温泉 三陽荘

横浪スカイラインの入り口からほど近い、竜の浜海水浴場の目の前に建つホテルで、日帰り温泉としての利用もできる。1階ロビー奥には純金製の大師像が安置され、無料で参拝できる。まばゆい輝きを放つ黄金大師像の両脇には、不動明王像、木彫坐像大師があり、お遍路さんの安全を見守っている。無料の天然温泉の足湯もぜひ。

所 高知県土佐市宇佐町電504-1
☎ 0120-15-4592
営業 11:00～23:00(受付は21:00まで、
ただしメンテナンス日は14:00～)
休 無休
入浴のみ大人600円



沿線の見どころ



国民宿舎土佐

横浪半島の小高い丘に建つ国民宿舎。素晴らしいロケーションと施設の充実ぶりで、お遍路さんからも支持を得ている。食事処やカフェとしても利用でき、料理は旬の素材を活かした定食や井メニューが豊富。日帰り入浴が可能な展望露天風呂からは、四国屈指の美しい眺望が堪能できる。

所 高知県土佐市宇佐町電599-6
☎ 088-856-2451
営業 電話受付は6:00～22:00
レストラン11:30～14:00、18:00～19:30
休 無休
料金 1泊2食付7,300円、
ドミトリ(洋室相部屋)素泊まり2,700円～



境内の見どころ



八丁坂

徒歩の場合、本堂まではかなり厳しい傾斜の石段を上らなければならない。そこで「上る人の気持ちを和ませたい」という思いから、一丁ごとにお地蔵さんが置かれ、それが八丁あるから八丁坂と呼ばれるようになった。地元ではこの坂を駆け上がるトレーニングコースとしても利用されている。



正面に建つ大きな薬師如来像が目をはきく境内

第35番

醫王山 清瀧寺

いおうざん きょうちいん きよたきじ

急坂の先で薬師如来像が出迎える

歴史・全体像

養老7年(723)に行基が薬師如来を刻み開基した寺。当初は景山密院釈本寺と称していたが、弘仁年間(810～824)には弘法大師が巡錫し、7日間修法し、寺号を清瀧寺と改めた。弘法大師の高弟で、平城天皇の第3皇子高岳親王ゆかりの寺としても知られ、境内の一角に、親王が生きているうちに作った墓・逆修塔がある。藩政時代には、土佐藩山内家の帰依が厚く、寺領10石ともいわれ、七堂伽藍を備えるほど大いに栄えた。一時は衰退したというが、現在では厄除けの名刹として知られる。境内のお堂に安置されたお地蔵さんは、婦人病の平癒祈願にご利益があるとして、多くの人が参拝する。

境内

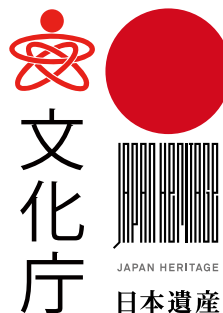
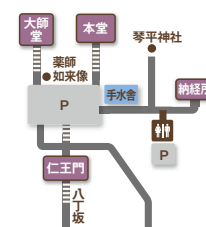
のどかな文旦畑が広がる清瀧山の中腹に位置する清瀧寺。仁王門には、明治33年(1900)に画家・久保南窓より奉納された龍の絵がかかっており、どこに立っていてもその龍と目が合うことで有名だ。また、境内に車を止める場所があるので、厳しい石段を使わずとも、容易にたどり着くことができる。駐車場右手奥にあるトイレの屋根の上は展望台に活用され、清流・仁淀川が太平洋に注ぎ込む雄大な風景を望むことができる。境内の真ん中には高さ12mにもおよぶ巨大な薬師如来像がたち、参拝者を出迎えてくれる。

本堂と大師堂は石段を上がって左右に並んでいる。

御詠歌／澄む水を汲めば心の清瀧寺
波の花散る岩の羽衣
本尊／厄除薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まと
うぎ そわか
宗派／真言宗豊山派
開基／行基菩薩



屋根の曲線が優美な雰囲気醸す本堂



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



